

# 週間市場レポート (2020年5月18日~5月22日)

## 1) 先週の市場動向

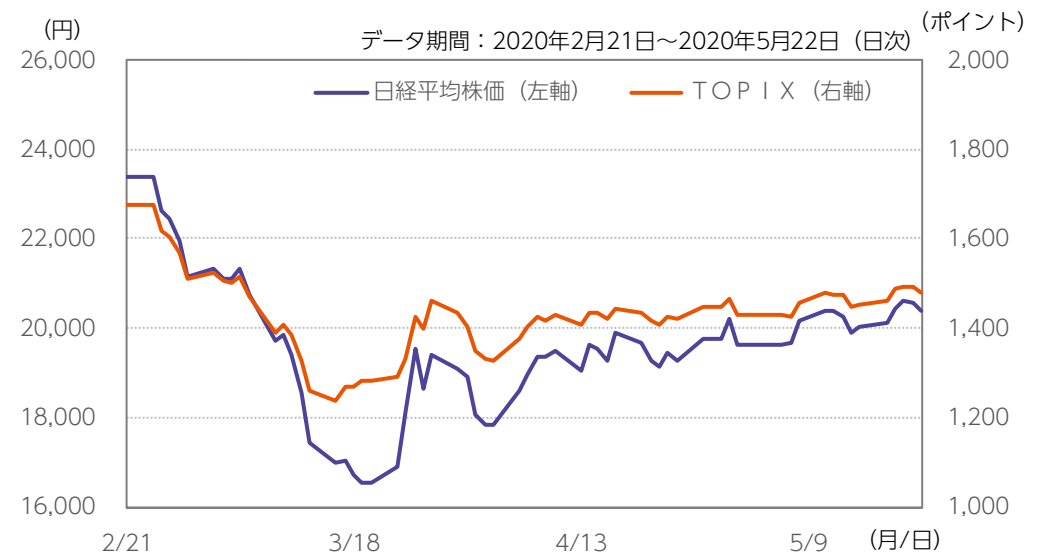
指数名	国	前週末 2020/5/15	先週末 2020/5/22	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		20,037.47	20,388.16	1.75 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,453.77	1,477.80	1.65 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		23,685.42	24,465.16	3.29 ↗
S & P500種指数		2,863.70	2,955.45	3.20 ↗
ユーロ・ストックス50指数		2,770.70	2,905.47	4.86 ↗
S & P/ASX300指数		5,373.21	5,469.98	1.80 ↗
上海総合指数		2,868.46	2,813.77	▲1.91 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)※		746.50	736.21	▲1.38 ↘
東証REIT指数		1,553.23	1,619.89	4.29 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		580.21	619.68	6.80 ↗
ASX300 REIT 指数		1,118.20	1,167.50	4.41 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		137.95	145.87	5.74 ↗
日本10年国債 (%)		0.00	0.00	▲0.00 ↘
米国10年国債 (%)		0.64	0.66	0.02 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.53	▲0.49	0.04 ↗
英国10年国債 (%)		0.23	0.17	▲0.06 ↘
ドル/円		107.06	107.64	0.54 ↗
ユーロ/円		116.02	117.32	1.12 ↗
英ポンド/円		129.55	130.98	1.11 ↗
豪ドル/円		68.67	70.36	2.47 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,700.89	1,802.31	5.96 ↗
WTI原油先物 (ドル)		29.43	33.25	12.98 ↗
CRB 指数		124.75	129.53	3.84 ↗
アレリアンMLP指数		707.35	783.32	10.74 ↗

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

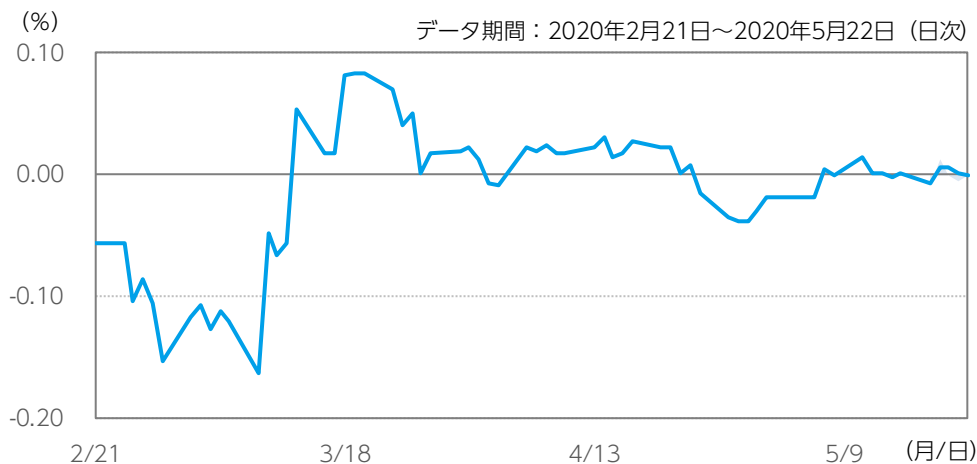
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。

国内における新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり、経済活動の再開期待などを背景に、前週末から20日(水)まで4日続伸となりました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる米中对立激化を警戒した投資家の持ち高調整の売りにやや押されたものの、週間では上昇となりました。



≪ 債券 ≫

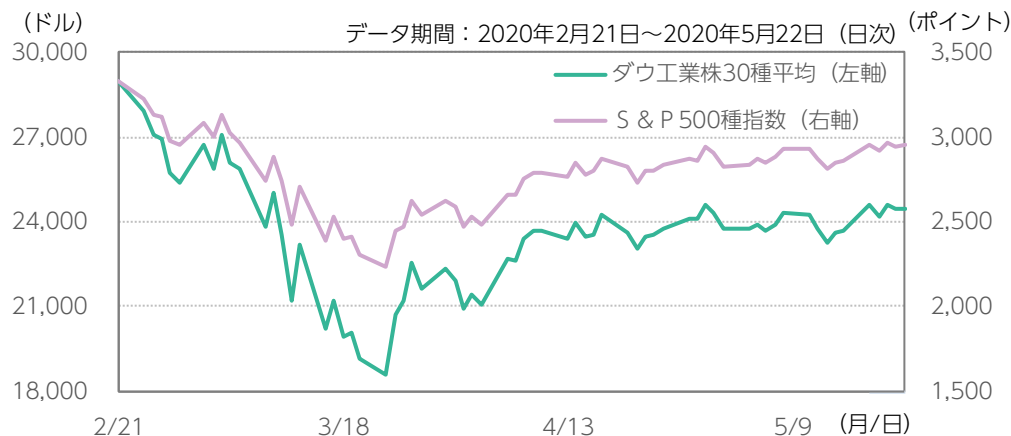
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。経済活動の再開期待を背景とした投資家のリスク選好姿勢の強まりによる売り（利回りは上昇）と、米中对立激化懸念を受けたリスク回避目的の買い（利回りは低下）がきつ抗し、週間ではほぼ横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

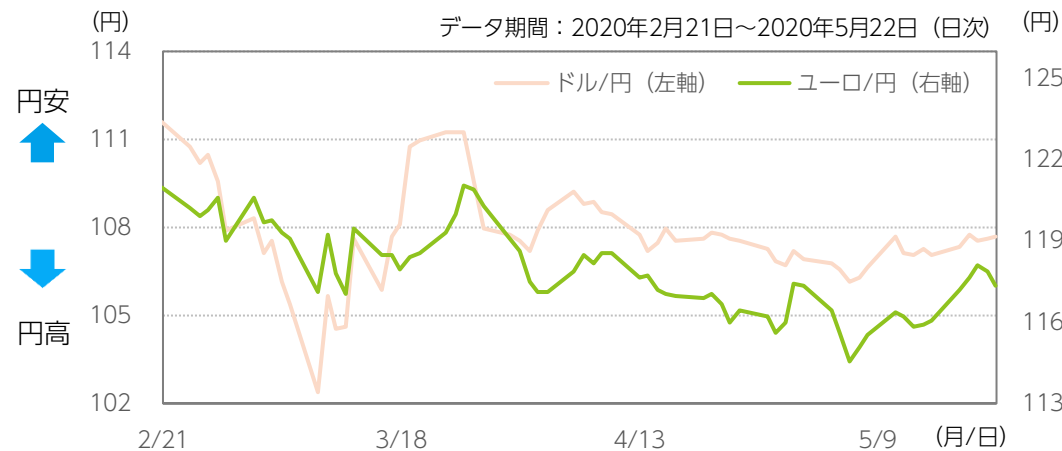
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。週初は、米製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの初期臨床試験で有望な結果を得たとの発表を受け大幅上昇となりました。その後は、株価上昇を受けた利益確定売りに押され、週末にかけて上昇幅を縮めました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。欧米において新型コロナウイルス対策の外出制限等を段階的に解除する動きが見られ、世界景気の先行きに対する懸念が後退したことから、投資家のリスク選好姿勢の強まりを受けた円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、欧米における経済活動の正常化期待などから、日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

米国では外出などの行動制限を緩和する動きが50州全土に行き渡り、経済活動再開への道筋が見え始めています。しかし、規制緩和を行った24州において再び感染者数が増加するなど、感染第2波への警戒感が高まっていること、また、新興国における感染ペースが拡大を続けていることなどから、先行きへの不透明感は継続するとみられます。直近公表された主要国の経済指標などから、新型コロナウイルスの世界的感染拡大による実体経済への悪影響が鮮明となっており、実体からかい離した直近の株高を警戒する声もあるようです。今週の株式市場は、制限緩和を行った国々における感染第2波の状況などを睨みながら一進一退の展開となりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>